

令和元年度

事業概要書

竹田土木事務所

目 次

1.	職 員 現 員 数	-----	2
2.	管 内 の 現 況	-----	3
	イ 道 路 現 況 (国道・県道)	-----	3
	ロ 河 川 現 況	-----	5
	ハ 砂 防 現 況	-----	6
3.	令和元年度の事業概要	-----	10
	イ 主要施策(重点事業)の執行状況 (令和元年度)	-----	10
	ロ 公共事業施工箇所調書 (令和元年度)	-----	12
	ハ 単 独 事 業 費 調 書 (令和元年度)	-----	18
	ニ 災害復旧事業進捗状況調書	-----	19
	ホ 工事検査箇所調書	-----	19
4.	用地登記事務処理状況	-----	20

1. 職員現員数

(平成31年4月26日現在)

職 種 組織及び現員		一般行政職員		技 能 労 務 職 員					計	非常勤 嘱 託 職 員	備 考	
		事 務	技 術	事務補佐	技術補佐	技 師	道 路 パトロール員	土木巡視員				業務技師 (道路パトロール員)
現 員	総 務 課	7	1	2						10	4	
	総務班	5	1							6	1	所長、次長兼総務課長を含む
	用地班	2		2						4	3	
	建設・保全課	2	15		1			1	1	20	4	
	管理班	2	1					1		4	1	建設・保全課長を含む
	保全班		5		1				1	7	1	
	企画・道路班		5							5		
	河川砂防班		4							4	2	
	計	9	16	2	1			1	1	30	8	合計38名

2. 管内の現況

市町村	人口(人)	面積(k㎡)	備考
竹田市	20,608	477.53	人口：平成31年4月1日現在 (大分県の人口推計による) 面積：平成30年10月1日現在 (国土地理院 全国都道府県市区町村別面積による)

イ 道路現況(国道・県道)

(道路)

(平成30年4月1日現在)

道路種別	路線数	実延長 (m)	改良別内訳				路面別内訳			
			改良済(m)	%	未改良(m)	%	舗装済(m)	%	未舗装(m)	%
国 道	2	29,071	29,071	100.0	0	0.0	29,071	100.0	0	0.0
主 要 地 方 道	3	59,082	52,507	88.9	6,575	11.1	59,082	100.0	0	0.0
一 般 県 道	11	103,688	83,032	80.1	20,656	19.9	103,688	100.0	0	0.0
計	16	191,841	164,610	85.8	27,231	14.2	191,841	100.0	0	0.0

注 1) 改良幅はW=5.5m以上

2) 旧道は除く

3) 舗装は簡易舗装含む

(橋 梁)

(平成31年4月1日現在)

道路種別	箇所数	延長 (m)
国 道	19	1,029.1
主 要 地 方 道	37	1,053.4
一 般 県 道	44	2,045.8
計	100	4,128.3

注 1) 旧道は除く。

(ト ン ネ ル)

(平成31年4月1日現在)

道路種別	箇所数	延長 (m)
国 道	7	1,001.6
主 要 地 方 道	10	1,301.2
一 般 県 道	9	1,078.3
計	26	3,381.1

注 1) 旧道は除く。

(ダ ム)

(平成31年4月1日現在)

名 称	形 式	堤 高	堤 頂 長	総貯水容量
稲葉ダム	重力式コンクリートダム	56.0m	233.5m	727万m ³

ロ 河川現況

(平成31年4月1日現在)

河川名	延長(m)	河川名	延長(m)	河川名	延長(m)
【大分川水系】		橘木川	3,000	稲葉川	26,838
芹川	22,335	新藤川	4,000	米山川	5,200
小津留川	2,800	小賀川	2,640	久住川	12,100
馬門川	5,800	緒方川	23,140	深迫川	1,000
二又瀬川	4,000	十角川	7,700	田町川	7,050
城後川	3,200	太田川	4,500	下の川	1,000
大谷川	3,000	神原川	7,100	境川	3,300
社家川	5,580	中角川	2,500	平木川	2,070
小鶴川	2,200	名子川	2,800	神馬川	6,220
河内川	5,200	波木合川	1,500	潤島川	8,730
市川	3,250	緩木川	4,300	家古屋川	4,200
七里田川	5,100	大野川	26,025	産山川	1,100
冷川	3,210	濁淵川	12,500	玉来川	18,083
計(12河川)	65,675	井無田川	3,000	矢倉川	4,200
【大野川水系】		笹無田川	9,100	滝水川	17,018
馬渡川	3,500	折立川	3,100	間戸川	3,000
田代川	3,200	法崎川	1,700	計(39河川)	266,914
吐合川	4,800	山の口川	1,500		
山崎川	9,200	藤渡川	5,000	合計(51河川)	332,589

ハ 砂防現況

(砂防指定地)

(平成31年4月1日現在)

河川名	延長(m)	河川名	延長(m)	河川名	延長(m)
久保川	1,200	下の川	1,400	中山川	260
栗木川	1,000	漆迫川	450	笹無田川	1,140
大石川	4,200	野鹿川	110	栃原川	635
小鶴川	4,500	神原川	2,600	五衛門谷川	110
河内川	7,400	田町川	5,700	中村川	285
家古屋川	1,000	神馬川	2,100	第2小津留川	240
名子川	2,000	尾谷川	600	波木合川支川	385
山崎川	6,000	新藤川	4,600	鹿風紺屋川	382
潤島川	8,730	石の原川	1,932	第3小津留川	240
久住川	5,000	石の原川支川	350	梶屋川	410
沢水川	1,800	七里田川	3,360	篠尾川	138
冷川	1,183	平木川	3,300	倉木川	930
吐合川	4,800	宮の原川	2,400	日向塚川	352
波木合川	2,300	白泉川	402	城北川	620
滝水川	3,300	鳴子川	1,320	中尾川	317
大野川	5,600	塩付川	217	第2栃原川	420
馬渡川	3,100	滑瀬川	132	ハズヤスミ川	455
藤渡川	3,400	粟生川	164	宮尾中尾川	445
山の口川	5,500	平原川	92	滑瀬川	180
境川	5,300	辻川	149		
緩木川	2,400	山中川	260	計(61河川)	119,295

急傾斜地崩壊危険箇所市町村別（整備率）一覧表

（平成31年3月31日）

市内町村名	指定箇所数 A	危険箇所数 B	要対策箇所数 C	概成箇所数 D	着手箇所数 E	要対策箇所の整備率 D/C（％）
旧竹田市	81	192	179	77	86	43.0%
竹田市荻町	2	12	9	3	2	33.3%
竹田市久住町	6	19	19	6	6	31.6%
竹田市直入町	8	15	14	6	7	42.9%
計	97	238	221	92	101	41.6%

※ 危険箇所：保全人家5戸以上の危険箇所

※ 要対策箇所：他事業（保安林、道路等）应予べき以外の箇所

(地すべり防止区域)

(平成31年4月1日現在)

市町村名	地域名	指定面積(ha)	市町村名	地域名	指定面積(ha)	市町村名	地域名	指定面積(ha)
竹田市	柄々	6.5						
竹田市	瀬の口地区	8.8				合計	2	15.3

(急傾斜地崩壊危険区域)

(平成31年4月1日現在)

市町村名	地域名	着手別	指定面積(a)	市町村名	地域名	着手別	指定面積(a)	市町村名	地域名	着手別	指定面積(a)
竹田市 (旧竹田市)	慶順川	●	55	竹田市 (旧竹田市)	近戸	●	325	竹田市 (旧竹田市)	橋本	●	53
	川向	●	902		提灯谷1号	●	135		拝田原	●	254
	山川	●	209		提灯谷2号	●	74		鏡	●	76
	五衛門谷	●	100		荒牧	●	55		山の神	●	79
	稻荷谷	●	148		三砂	●	22		井手の上	●	223
	奥ノ谷	●	333		八幡山	●	165		鷹匠町	●	31
	本町	●	70		第2三砂	●	35		下矢倉	●	228
	山手	●	806		第2下木	●	110		カギ畑	●	47
	下木	●	140		阿蔵	●	60		桜瀬	●	54
	殿町	○	追加準備中		第1久戸	●	212		平	●	117
	飛田川	●	30		第2久戸	●	95		柚谷	●	51
	玉来	●	18		第2阿蔵	●	33		鶴原	●	52
	深迫	●	74		立小野	●	88		米納	●	62

市町村名	地域名	着手別	指定面積(a)	市町村名	地域名	着手別	指定面積(a)	市町村名	地域名	着手別	指定面積(a)	
竹田市 (旧竹田市)	近戸第2	●	264	竹田市 (旧竹田市)	米納沢	●	150	竹田市	添ヶ津留	●	104	
	上角西	●	14		古園	●	89	久住町	飛森	●	80	
	大口	●	33		岩本	▲	224	小計	6		829	
	百木	●	93		第2赤坂	●	8	竹田市 直入町	桑畑	●	575	
	紙漉	●	90		西ノ前	●	111		原山	●	44	
	魚住	●	25		栗元	●	152		山脇	●	143	
	拝田原第2	●	134		内園	▲	78		柚柑子	×	90	
	玉来東	●	101		平3号	●	95		御前湯	●	36	
	中	●	85		篠尾	●	11		天神	●	25	
	赤坂	●	88		折立	▲	40		城後	●	58	
	島園	●	115		岩瀬	▲	47		久保	●	39	
	妙見	●	134		河宇田	●	124	計	8		1,010	
	坂折	●	54		岩木第2	●	147	竹田市	野鹿	●	146	
	第2柚谷	●	76		小仲尾	○	47	荻町	宮平	●	257	
	田原	▲	95		次倉中央	○	109	計	2		403	
	長小野	●	220		渡瀬	○	手続き中					
	穴井迫	●	145		上下木	○	81					
	あざみ	●	36		濁淵	○	準備中	合計	102		12,272	
	横枕	●	199		田原	○	準備中					
	栃瀬	●	200		七里	○	準備中					
	猿口	●	137		第3柚谷	○	準備中					
	雉ヶ平	●	238		小計	86						
	大津留	●	81		竹田市	南稲葉	●	112	着手別内訳 箇所表			
	鬼森	●	99		久住町	須崎	●	420	●	概成	87箇所	
蘇菜	●	47		今村	●	89	▲	一部概成	5箇所			
会々	●	93		神馬	●	24	○	実施中	9箇所			
							×	未着手	1箇所			
							計		102箇所			

3. 令和元年度の事業概要

イ 主要施策（重点事業）の執行状況

（1）一般国道442号 道路改良事業

〔事業の目的〕

本路線は、大分市の一般国道210号を起点とし、豊後大野市、竹田市、熊本県、日田市を經由し、福岡県大川市の一般国道208号に至る延長約155kmの幹線道路で、九州の東西を連結する主要な路線である。

このうち竹田市久住町の熊本県境付近は阿蘇くじゅう国立公園内の重要な観光ルートと位置づけられているが、線形不良で路肩も狭小であり、通行に支障をきたしている。

このため、走行快適性及び交通安全性の向上と、観光施設へのアクセス強化によるツーリズム振興を目的として道路整備を行う。

〔事業の執行状況及び成果〕

本事業は、全体延長L＝1,975mの道路改良事業である。

平成26年度に事業着手し、平成29年度に一部区間（L＝320m）について供用開始した。令和元年度は引き続き工事を推進する。

（2）主要地方道 庄内久住線 道路改良事業

〔事業の目的〕

本路線は、由布市の一般国道210号を起点とし、一般国道442号へ至る総延長約29.4kmの幹線道路であり、道路沿線には竹田市久住支所等の公共施設や救急指定病院が立地している。また、長湯温泉等の観光拠点も点在しており、ぐるっとくじゅう周遊道路の一部として観光路線の一翼を担っている。

このうち、竹田市久住町の中心部に位置する久住工区は、人家が連担し、幅員が狭く、歩行・通学路空間が確保されていないため、歩行者の安全性、観光バス等の大型車両の離合にも支障をきたしている。このため、これらの問題点を解消し、竹田市中心部及び旧久住町中心部（公共施設等）へのアクセス強化を図るため、道路整備を行う。

〔事業の執行状況及び成果〕

本事業は、全体延長L＝830mの道路改良事業である。

平成25年度に事業着手し、令和元年度は引続き用地買収及び工事を推進する。

(3) 一級河川 濁淵川 広域河川改修事業

[事業の目的]

濁淵川は、竹田市大字城原の木原山の南西山麓に源を発し、大野川に流入する流域面積37.7km²の1級河川である。本河川は平成24年7月の九州北部豪雨により、浸水面積17.0ha、床上浸水18戸、床下浸水12戸の甚大な被害が生じた。このため、平成29年度から広域河川改修事業を実施し、浸水被害の解消を図るものである。

[事業の執行状況及び成果]

本事業は、全体計画延長L=7,000mの河川改修事業である。
平成29年度より事業着手し、令和元年度は調査・設計を推進する。

(4) 一級河川 玉来川 広域河川改修事業

[事業の目的]

玉来川が流れる竹田市には城下町としての歴史的風情や文化資源が多く残されているが、貴重な文化資源の拠点的役割を担ってきた「文化会館」が平成24年の九州北部豪雨で被災したため、竹田市では「総合文化ホール」としてリニューアルするほか公園整備や道路整備などを進めている。このため、文化会館周辺を流れる玉来川を親しみあふれる市民の憩いの場とするために、令和元年度から「かわまちづくり」事業を実施し、観光振興の促進を図るものである。

[事業の執行状況及び成果]

本事業は、全体計画延長L=820mの河川改修（かわまちづくり）事業である。
令和元年度より事業着手し、令和元年度は測量・設計を推進する。

(5) 下矢倉川 火山砂防事業

[事業の目的]

下矢倉川は竹田市の中部に位置し、保全対象として人家92戸および自主避難場所である下矢倉団地集会室、避難路となっている市道下矢倉1号線を含む土石流危険渓流である。本渓流の上流域は、長年の風雨による荒廃が著しく、また、斜面崩壊の発生により渓床には巨石や不安定土砂が堆積しており、土石流災害発生の危険性が懸念されるため、早急に対策を講じ人家等の保全を図るものである。

[事業の執行状況及び成果]

本事業は、砂防堰堤1基を設置する砂防事業である。
平成28年度に事業着手し、令和元年度は用地買収を推進する。

ロ 公共事業施工箇所調書

注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
 注2:工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
 注3:事務費除きの工事費を記載しています

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要 上段:全体事業費 C=金額(千円) 中段:元年度 L=延長(換算) 下段:2年度以降 H=高さ(") A=面積(")
					市町村	大字			
1	道路	社会資本 整備総合 交付金	道路改良事業	国道442号 (久住拡幅Ⅱ)	竹田市 久住町	白丹	198,000 (0)	継続	C= 580,000 L= 1,975 C= 198,000 L= 674 C= 141,200 L= 481
2	"	"	"	庄内久住線 (塩手工区)	竹田市 直入町	下田北	135,127 (500)	継続	C= 800,000 L= 960 C= 135,127 L= 162 C= 255,173 L= 306
3	"	"	"	白丹竹田線 (下志土知工区)	竹田市	下志土知	160,000 (0)	継続	C= 802,000 L= 930 C= 160,000 L= 186 C= 403,900 L= 468
4	"	防災・安 全交付金	"	庄内久住線 (久住工区)	竹田市 久住町	久住	280,000 (170,000)	継続	C= 1,195,000 L= 830 C= 280,000 L= 194 C= 201,700 L= 140
5	"	"	"	白丹竹田線 (飛田川工区)	竹田市	飛田川	132,078 (3,000)	継続	C= 412,000 L= 882 C= 132,078 L= 283 C= 81,722 L= 175
6	"	"	"	神原玉来線 (中尾工区)	竹田市	中尾	30,000 (30,000)	継続	C= 1,273,000 L= 838 C= 30,000 L= 20 C= 114,300 L= 75
7	"	社会資本 整備総合 交付金	"	竹田五ヶ瀬線 (田原3工区)	竹田市	九重野	20,000 (20,000)	継続	C= 330,000 L= 838 C= 20,000 L= 51 C= 267,000 L= 678
			道路新設改良費計	7箇所			955,205 (223,500)		

注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
 注2:工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
 注3:事務費除きの工事費を記載しています

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概要 上段:全体事業費 C=金額(千円) 中段:元年度 L=延長(換算) 下段:2年度以降 H=高さ(") A=面積(")
					市町村	大字			
8	道路	防災・安全交付金	交通安全事業	庄内久住線 (仏原工区)	竹田市 久住町	仏原	118,000 (1,000)	継続	C= 665,000 L= 1,000 C= 118,000 L= 177 C= 120,000 L= 180
9	〃	〃	トンネル補修	国道502号	竹田市	竹田	10,000 (0)	継続	C= - N= - C= 10,000 N= 2 C= - N= -
10	〃	〃	トンネル補修	竹田五ヶ瀬線 外	竹田市	竹田	25,000 (0)	継続	C= - N= - C= 25,000 N= 4 C= - N= -
11	〃	〃	橋梁補修 (15m未満)	庄内久住線 外	竹田市	竹田	30,000 (0)	継続	C= - N= - C= 30,000 N= 5 C= - N= -
12	〃	〃	橋梁補修 (15m以上)	国道442号 外	竹田市	竹田	6,000 (0)	継続	C= - N= - C= 6,000 N= 1 C= - N= -
13	〃	〃	橋梁補修 (15m以上)	竹田五ヶ瀬線 外	竹田市	長瀬橋 外	109,000 (0)	継続	C= - N= - C= 109,000 N= 6 C= - N= -
14	〃	〃	橋梁補修 (耐震補強)	竹田五ヶ瀬線 外	竹田市	竹田	15,000 (0)	新規	C= - N= 3 C= 15,000 N= 1 C= - N= -
15	〃	〃	施設修繕 (TN照明)	国道502号	竹田市	竹田	77,000 (0)	継続	C= - N= - C= 77,000 N= 2 C= - N= -
16	〃	〃	施設修繕 (TN照明)	竹田五ヶ瀬線 外	竹田市	竹田	32,000 (0)	継続	C= - N= - C= 32,000 N= 2 C= - N= -
17	〃	〃	災害防除	竹田直入線 外	竹田市	会々外	224,100 (3,100)	継続	C= - N= - C= 224,100 N= 2 C= - N= -

注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています

注2:工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります

注3:事務費除きの工事費を記載しています

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要 上段:全体事業費 中段:元年度 下段:2年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ() A=面積()
					市町村	大字				
18	道路	防災・安全 交付金	トンネル点検	管内一円(国道)			10,000 (0)	継続	C= - N= - C= 10,000 N= - C= - N= -	
19	〃	〃	トンネル点検	管内一円(地方道)			10,000 (0)	継続	C= - N= - C= 10,000 N= - C= - N= -	
20	〃	〃	橋梁点検	管内一円(国道)			15,000 (0)	継続	C= - N= - C= 15,000 N= - C= - N= -	
21	〃	〃	橋梁点検	管内一円(地方道)			15,000 (0)	継続	C= - N= - C= 15,000 N= - C= - N= -	
22	〃	〃	附属物点検	管内一円(国道)			2,000 (0)	継続	C= - N= - C= 2,000 N= - C= - N= -	
23	〃	〃	のり面土工 構造物点検	管内一円(国道)			2,500 (0)	継続	C= - N= - C= 2,500 N= - C= - N= -	
24	〃	〃	のり面土工 構造物点検	管内一円(地方道)			2,500 (0)	継続	C= - N= - C= 2,500 N= - C= - N= -	
			道路維持費計	17箇所			703,100 (4,100)			
			道路建設費計	24箇所			1,658,305 (227,600)			

注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
 注2:工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
 注3:事務費除きの工事費を記載しています

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要 上段:全体事業費 中段:元年度 下段:2年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ() A=面積()
					市町村	大字				
25	河川	社会資本 整備総合 交付金	総合流域 防災事業	玉来川	竹田市	玉来	20,000 (0)	新規	C= 350,000 L= 820 C= 20,000 L= 47 C= 330,000 L= 773	
26	〃	〃	〃	芹川	竹田市 直入町	長湯	20,000 (0)	新規	C= 350,000 L= 1,680 C= 20,000 L= 96 C= 330,000 L= 1,584	
27	〃	防災安全 交付金	〃	濁淵川	竹田市	会々	30,000 (0)	継続	C= 439,000 L= 7,000 C= 30,000 L= 478 C= 349,000 L= 5,565	
28	〃	〃	〃	大野川圏域(竹田) (樹木伐採・土砂掘削)	竹田市	大野川	24,000 (0)	継続	C= 100,000 L= - C= 24,000 L= - C= 20,000 L= -	
29	〃	〃	堰堤改良事業	稲葉ダム	竹田市 久住町	白丹	15,000 (0)	継続	C= - N= - C= 15,000 N= - C= - N= -	
			河川事業費計	5箇所			109,000 (0)			

注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています
 注2:工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります
 注3:事務費除きの工事費を記載しています

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要 上段:全体事業費 中段:元年度 下段:2年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(") A=面積(")
					市町村	大字				
30	砂防	防災安全 交付金	火山砂防事業費	下矢倉川	竹田市	君ヶ園	55,000 (4,000)	継続	C= 150,000 L= - m H= 7.0 m C= 55,000 L= - m H= 2.6 m C= 72,710 L= - m H= 3.4 m	
31	砂防	防災安全 交付金	砂防事業調査費	管内一円			93,000 (0)	継続	C= - L= - m H= - m C= 93,000 L= - m H= - m C= - L= - m H= - m	
			砂防事業費計	2箇所			148,000 (4,000)			
32	砂防	社会資本 整備総合 交付金	地すべり対策 事業	瀬の口地区	竹田市	次倉	50,000 (500)	継続	C= 591,000 A= 8.8 ha C= 50,000 A= 0.7 ha C= 78,750 A= 1.2 ha	
			地すべり対策事 業費計	1箇所			50,000 (500)			
33	砂防	防災安全 交付金	急傾斜地崩壊 対策事業	渡瀬地区	竹田市	渡瀬	25,000 (500)	継続	C= 115,000 L= 178 m C= 25,000 L= 39 m C= 24,000 L= 37 m	
34	"	"	"	上下木地区	竹田市	会々	28,000 (5,000)	継続	C= 120,000 L= 200 m C= 28,000 L= 47 m C= 25,000 L= 42 m	

注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記載しています

注2:工事費は内示額又は交付申請予定額であり、執行額とは異なります

注3:事務費除きの工事費を記載しています

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川 港 湾 名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概 要 上段:全体事業費 中段:元年度 下段:2年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ() A=面積()
					市町村	大字				
35	砂防	防災安全 交付金	急傾斜地崩壊 対策事業	次倉中央地区	竹田市	次倉	30,000 (2,000)	継続	C= 120,000 L= 200 m C= 30,000 L= 50 m C= 20,000 L= 33 m	
36	〃	〃	〃	殿町地区	竹田市	竹田	35,000 (3,500)	継続	C= 120,000 L= 160 m C= 35,000 L= 47 m C= 37,000 L= 49 m	
37	〃	〃	〃	濁渕地区	竹田市	挾田	30,000 (500)	継続	C= 90,000 L= 150 m C= 30,000 L= 50 m C= 41,000 L= 68 m	
38	〃	〃	〃	田原地区	竹田市	飛田川	10,000 (0)	継続	C= 100,000 L= 150 m C= 10,000 L= 15 m C= 74,000 L= 111 m	
39	〃	〃	〃	尾園地区	竹田市	平田	15,000 (0)	新規	C= 100,000 L= 120 m C= 15,000 L= 18 m C= 85,000 L= 102 m	
40	〃	〃	緊急改築 (急傾斜)事業	下木地区	竹田市	会々	15,000 (0)	新規	C= 80,000 L= 30 m C= 15,000 L= 6 m C= 65,000 L= 24 m	
			急傾斜地崩壊対 策事業費計	8箇所			188,000 (11,500)			
			砂防事業計	11箇所			386,000 (16,000)			
			合計				2,153,305 (243,600)			

令和元年7月31日現在

ハ 単独事業費調書

※注1: 工事費は各事業担当課が別途送付する作業値を記載しており、執行額とは異なります。

※注2: 歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。

※注3: 事務費除きの工事費を記載しています

事業名	工事費(百万円)	摘	要
交通安全事業	27.227		
側溝整備事業	3.890		
道路防災事業	60.587		
身近な道改善事業	49.598		
道路改良事業	233.400		
道路施設補修事業	100.168		
道路計	474.870		
緊急河床掘削事業	43.000		
河川海岸改良事業	36.000		
河川施設災害防止緊急対策事業	60.000		
河川計	139.000		
急傾斜地崩壊危険区域緊急伐採事業	0.990		
急傾斜地崩壊対策事業	44.800		
砂防施設再生事業	6.000		
砂防施設・急傾斜地災害防止緊急対策事業	61.200		
砂防計	112.990		
街路改良事業	4.863		
都市計画計	4.863		
地域の安心基盤づくりサポート事業	4.100		
その他計	4.100		
合計	735.823		

令和元年7月31日現在

ニ 災害復旧事業進捗状況調書

年災別	決定工事費		30年度までの実績額		残工事	
	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)
25	25	319,334	25	325,818	0	0
26	10	60,613	10	61,200	0	0
27	4	11,802	4	13,026	0	0
28	36	433,300	36	453,637	0	0
29	119	1,154,411	119	1,094,962	0	0
30	15	109,141	12	86,429	3	12,763
計	209	2,088,601	206	2,035,072	3	12,763

ホ 工事検査箇所調書

年度別	26	27	28	29	30	計	摘要
検査箇所数	123	114	95	99	118	549	
請負金額(千円)	2,528,307	2,024,752	1,567,507	1,882,738	2,098,004	10,101,308	

4. 用地登記事務処理状況

平成31年3月末現在

	38～63	元～10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計
取得筆数	7,940	7,531	317	314	198	184	240	203	263	202	175	190	282	1,920	95	157	229	118	61	129	93	85	20,926
29年度までの 処理筆数	7,863	7,184	315	314	197	184	240	203	263	202	175	190	282	1,920	95	157	229	118	61	129	93	0	20,414
30年度の 処理筆数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	85
残筆数	77	347	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	427
登記率	99.0	95.4	99.4	100.0	99.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.0

※土木へ移管されたダム分1,777件（全て登記済み）を22年度末に計上

